



⇒E-mail [fureainpo@gmail.com](mailto:fureainpo@gmail.com)

⇒ホームページ

<http://www.fureai-support.jp/>



12・1月号  
平成30年11月28日

- 法 人 事 務 所 ・ ア ト リ エ TEL 0244(36) 5420  
〒976-0042 相馬市中村字北町1-8 FAX 0244(26) 5424
- デイサービス友遊(北 町) TEL 0244(26) 5424
- デイサービス友遊(南飯洲) TEL 0244(36) 3582
- 中央児童センター(ポニー・ことり) TEL 0244(35) 2008
- 飯豊小放課後児童クラブ(ひまわり) TEL 0244(37) 8870
- 日立木小放課後児童クラブ(めだか) TEL 0244(35) 3400
- 磯部小放課後児童クラブ(げんき) TEL 0244(32) 1787
- 八幡小放課後児童クラブ(なのはな) TEL 0244(26) 9011
- 相馬こどものみんなの家 TEL 0244(35) 4700

紅葉した木々の葉も落ち、北町アトリエ下の蓮池には、渡り鳥の姿が見られ白鳥も飛来しました。

晩秋から冬の景色に変わり、年末にむけて何かと忙しい時期ですが

子ども達にとっては、冬休み・クリスマス・お正月…寒い中にも楽しいことが盛りだくさんです。

かいがそうけいきょうしつでは、仙台市にある宮城野高校の美術部の皆さんによる特別授業があります。

震災後、毎年継続してご指導頂き7回目になります。今年もお楽しみに…!

皆様が、良いお年をお迎えできますよう、お祈り申し上げます。



大きなお魚 (北)



お話の絵 (南)



はっぱのいろ (南)



油絵制作・牛骨 (北)



犬のミルクィー (北)



中学生制作風景

### 10・11月のかいがそうけいきょうしつでは…

#### 未就学児:おさかな・犬のミルクィー

松川浦の漁師さんの守さんが釣ってきた大きな鯛、スズキを描きました。絵もお魚と同じく大きく描けたよ。大好きな犬のミルクィーをモデルに、かわいく描いたよ。ミルクィーちゃんいつもいっぱい遊んでくれてありがとう。

#### 1・2年生:絵本の絵・模写絵・おもちゃの絵・秋色混色

お話をよく聞き、みんなでどの場面を描くか相談しながら楽しく書きました。模写絵は仏像の写真を見て、仏様の気持ちを感じ取って描きましたよ。秋色になった葉っぱの色を混色しながら見つけ、大きな木に仕上げ。

#### 3～6年生:仏画・油絵(牛骨・人形)墨絵(花・犬)

観音様の彫刻を見つめながら心を静かに絵を描く態度は真剣だったね。本当の骨?そうだよ。40年前に牛の頭を半年土に埋め、きれいに洗ってモデルになったんだよ。工夫しながら其々の個性を發揮した絵でした。

#### 中学生:油絵(人物)・ペン画(プリキュア)

いろいろな関係性を見つめるため、複数のキャンバスや画用紙を並べて制作中。完成まで逆算して制作することで、普段の生活も見直せるよう2時間の時間を大切に制作しています。小学生も先輩の制作に興味しんしん。

### 12・1月の活動予定 & 事務連絡

#### ◎12月・アートな習字でカレンダーづくり

#### ・特別授業 アートで遊んで感動体験

4月にお渡しした勉強日予定では22日でしたが変更になっています。詳しくは裏面をご覧ください。

※ アルバム用の写真撮影もありますので休まないで下さい。

#### ◎ 1月・団子さし・もち花作り ・陶芸 お守りの鈴



<12月のご請求> 月会費に加えて  
・パネル・額装代 1800円

<1月のご請求> 月会費のみ

### 目薬の木紅葉祭りを終えて

今年も勤労感謝の日の23日、南飯洲の長寿の森園・デイサービス友遊で3回目の紅葉祭りをを行いました。朝方降っていた雨も上がり、秋晴れの良い天気になり、100人近い皆さんに、東屋周りにある紅葉した目薬の木を愛でながら秋の一時を過ごせました。

紅葉祭りの開催にあたり デイサービスのおじいちゃん・おばあちゃんに目薬の木茶葉入りクッキーの準備、豚汁の準備、販売する味噌詰め、梅干し詰めを手伝っていただき、当日は、子ども達がわた飴・ポップコーン・ヨーヨー風船作りに張りきっていました。豚汁作りや弁当づくりを手際よくしてくれたスタッフの皆さん、他、たくさんの方々のご尽力を受け盛会に終えることができました。ありがとうございました。

今年は温暖化の影響か、紅葉の色付きがいまいちでした。

25日(日曜日) 福 島 民 報

相馬市の NPO法人 ふれあいサポート館アトリエは、十三日、同市南飯洲の長寿の森園で漢方薬として飲用されていくメグスリノキ(目薬の木)の紅葉祭りを開いた。三十年ほど前から敷地内に植えている。鑑賞や採取を通じた世代間の交流の場づくりに取り組んでいる。訪れた子どもたちは紅葉を販売し好評だった。

を眺め、締め、締めめを作った。来訪者には新米おにぎり、豚汁なども提供した。白菜、ダイコン、ネギなど新鮮な野菜を販売し好評だった。

相馬豚汁提供や野菜販売も 紅葉祭り 交流深める

メグスリノキの紅葉を眺める子どもたち

## 冬の特別授業 アートで遊びながら感動体験

2学期のまとめとして、南飯渕アトリエと北町アトリエのお友だちが、合同で一緒に楽しく遊びながら感動体験するプログラムです。

● 日時 12月15日(土) 午後1時30分～午後4時30分(全コース合同)

● 場所 北町アトリエ ※持参物は特になし。活動しやすく汚れてもよい服装で参加ください。

昨年に引き続き、仙台市にある宮城野高校の美術部の皆さんによる特別授業があります。

震災後、毎年継続してご指導頂き7回目になります。今年もお楽しみに…!

クリスマスにちなみ、班毎にオリジナルケーキ作りもあります。

平成最後の12月、思い出作りに、アートで遊びながら感動体験をしよう!

### 40年ぶりの再会に感激

3年前、京都でたまたま通りがかり倉本信之個展のポスターを見て、もしやと思い会場に顔を出してくれたという元教室生夕香里ちゃん。40年ぶりの再会。それをまたご縁に、50周年記念誌にご寄稿いただき今回は、仕事場を訪問させていただきました。

日本の伝統的造園学で博士号を取得され、京都一番の大手造園会社の仕事をしているため、金閣寺他有名な京都の寺院仏閣などを案内していただき、彼女の仕事ぶりを拝見できました。通り一遍の見学とは違い、詳しい説明付きのご案内で、歴史的な重みが更に増しました。当時と変わらぬエネルギーな行動に、彼女のすばらしい仕事とおもてなしの心が加わって、とっても素敵でおしゃれな大人にお会いでき感激、嬉しかったです。

お会いしていなかった40年分の彼女の履歴を伺い幼少時代に培ったものは、三つ子の魂というようにいくつになっても生きている事。ご両親の教育や愛情や価値観が、子供の成長に大きく左右する事。40数年ぶりにお会いできた夕香里ちゃんに感動でした。

永年、かいがきょうしつの仕事に携わり、たくさんの皆さんにお会いできた事は、私達の大きな宝でありあちこちでこうしたご縁が再び紡がれることに、感謝です。

当法人の理事、羽根田隆先生の快挙をご案内します。

福島民友新聞記事より

## 画力向上「挑戦続ける」

### 日展洋画部門 11度目の入選

相馬市の医師羽根田隆さん(78)の絵画「壁面の谷」が全国公募展「改組新第5回日展」の洋画部門で3年ぶり11度目の入選を果たした。医師の仕事の傍ら重ねてきた快挙に、羽根田さんは「原点に立ち戻り久しぶりに入選できた。感激している」と話す。

羽根田さんの絵のモチーフは、有史以前の壁画を題材に、原始人たちの生きざまを描くものが多い。今回の作品は太古のオオツノジカを主役にトナカイの群れを描いたが、それらが谷の岩に描かれているところを描写したのがメイン。岩の質感を出すために、ローラーやナイフを駆使して表現した。



絵画に取り組んだのは50歳を過ぎてから。気軽な気持ちで描いた相馬の夜桜の絵を、妻に褒められたのがきっかけだった。患者として付き合っていた当時宮城県在住の洋

日展で入賞した羽根田さんの作品「壁面の谷」

画家の故杉村博さんに絵を見せると、高評価を得てそのまま師事すること。医師と患者が、師匠と弟子に。「一人一人はどこでどんな出会いをするか分からないね」と笑う。院長として診察を行う前に、毎朝筆を走らせるのが日課だ。日展の初入選は2003(平成15)年、10回目の入選を果たした15年に会友の仲間入りを果たした。画力の向上へフランスやスペインの洞窟で壁画を見て回るなど、努力を続ける。

羽根田さんは「絵を描いている間は寝ても覚めてもそればかりだ。今後も挑戦を続けたい」と、筆を握る手に力を込める。

同展は11月2日から25日まで、東京・国立新美術館で開催。(相馬支局・大内義貴)

### 子どもの絵を飾ろう運動

美育文化協会でも、こどもの絵を飾ろう運動を推進しています。

こどもの絵はこどもであることの証です。

♡こどもの絵が飾ってあると「ホッ」とします。

♡こどもの絵をみると人は笑顔になれます。

♡こどもの絵には不思議な力があります。

♡こどもの絵にはその子の感じとった全てが詰まっています。

こどもの絵は文字のない手紙と感じます。

絵を飾るということだけではなく、人と人との関わりを密にします

当教室では、53年間子ども達の絵を飾り続けてきました。

たくさんの絵で笑顔をいっぱい作りましょう。

